

川崎発・自転車搭載型浄水器でコミュニティ防災体制の構築を目指す in バングラデシュ

国際協力機構(JICA)は7月16日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において日本ベーシック株式会社(神奈川県川崎市、勝浦雄一代表取締役)が提案する「自転車搭載型浄水装置を活用したコミュニティ防災体制構築事業案件化調査」(バングラデシュ)を採択しました。

バングラデシュは、洪水やサイクロン等の自然災害の発生が多いものの、コミュニティ(地域)での災害対策はまだ十分ではありません。そこで、同社の製品である自転車搭載型浄水装置「シクロクリーン」を活用しながら、コミュニティの防災体制の構築を目指します。



写真：大型サイクロンによる水不足で苦しむミャンマーの村における給水活動(2010年)。自転車を漕ぐことで1分間で6リットルの飲料水を作り出せる。

「シクロクリーン」は、自転車後部に浄水するためのフィルターが搭載されている、世界4か国で特許を有している自転車搭載型浄水装置です。自転車のペダルを漕ぐ力が動力となり、河川や池などの水から、安全な飲料水を作ります。手押しポンプ式に比べ、足を使うため疲れにくく、また、自転車型であることからアクセスの良くない地域・水源へ容易に移動できることが特徴です。電気やガソリンを使わないため、日本でも、自治体やマンションの災害時用の浄水装置として広まっています。

同企業は、「シクロクリーン」を学校へ設置することで、緊急時の水供給に利用するだけでなく、平常時には、飲料水として児童へ供給するほか、浄水体験学習や衛生教育を行うなどの有効活用を計画しています。さらに、現地 NGO やコミュニティと協働して、学校防災機能の構築・強化や、緊急時の水源確認、給水体制の検討、シクロクリーンを実際に使用した浄水・給水の体験などを通じ、コミュニティの防災体制の構築を目指します。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012 年度から実施されており、2014 年度補正予算分並びに 2015 年度第 1 回分は本年 3 月に公示を行いました。94 件の応募のうち 32 件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：(プレスリリース)案件化調査 2014 年度補正予算/2015 年度第 1 回公示の採択結果について
URL：http://www.jica.go.jp/press/2015/20150716_01.html

以上

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 横浜 総務課： 須藤、広瀬、原田

TEL 045-663-3252 e-mail : yictad@jica. go. jp